

母校通信

白坂喜和 (高三回卒)

今年の春はいつになく早く、学校の北側の桜は三月二十日には五分咲きの状態です。校庭の木々も、春に芽吹き始め、グラウンドの改修工事も急ピッチで進み、先日卒業生を送り出した在校生の足よりも軽やかに走り、何んとかなく学校全体に躍動感が感じられます。

さて、今回の通信は駅伝部の全国大会での活躍の報告から入りたいと思います。念願の男女アベック出場を果たした全国大会は昨年十二月二十四日、京都の西京極陸上競技場をスタート・ゴールとして、まず女子の競技から開始されました。女子の部は一回でハーフマラソンの距離を五区間で競います。十位以内入賞を目標に、本校エースの松下選手を、区に配し、彼女の走りに全てを託してレースに臨んだのですが、彼女の県大会後の風邪入院等による影響が、体の調子が万全でなく、選手達の精いっぱい頑張りの空しく二十四位の成績でした。続く男子の部は各都道府県代表と地区代表の計五十八チームが参加し、本校も昨年に続く上位入賞を目指して出場しました。

尿の出具合は
いかがですか

医学博士 細田和成

同窓会でビールを酌み交わしながら談笑している男性達。ビールを飲むと尿が近くで出るんだ。夜も三回起きるしね。出も悪いし年だね。皆さん思い当たりませんか。昔のおっさんは、年のせいと考え当然だと我慢していました。そのうち突然尿がしたいのにいくらいきんでも出ません。脂肪を流して病院にかけ込みます。下腹はこもり盛り上がり妊娠5ヶ月といった状態です。オチンチンの先から管を入ると、濃い茶色い尿が5合程も出てやっと生き返ります。お尻から指を入れられ、こりやうでかい前立腺肥大症ですね。手術したほうがいいですよ。といったパターンは、昔の話。現在では、新聞、雑誌、テレビ等でいろいろ情報が出されています。健康診断でも、直腸診をすることが多いので、症状の軽い内に病院へ行くことが多くなっています。連れションで自分が終わるまでに隣は二人も代わってしまったなどと言うのは、尿の出方が悪い証拠です。判らないときは、尿をしようと構えてからで始める

次々に抜きさり、ついには、一位の報徳高校をも抜いて、逆に五秒の差をつけて五区の萩原君につなぐという離れ技を見せてくれました。萩原君も区間三位の走りでも頑張ったのです。三位となり、六区小出水君、七区西木場君に望みをつないだのですが、報徳、西脇工業の選手に後、歩及ばなかつたものの、大会タイ記録の二時間五十分五十一秒の大記録で、堂々の三位入賞の栄冠を勝ちとることが出来ました。



3位入賞の瞬間

全員が一丸となって、力の全てを振り絞ってこの大会にぶつつけたエネルギーは、在校生にやればできるという自信と希望を与えてくれました。方進学園は駅伝の成績が進学の成績に通ずるというジンクスを信じて、合格発表が出そろったのを待っている所です。現在判明している所では、東大、筑波大、名大、千葉大、九大等難関校への合格者を出していますが、東大へ現役で、名の合格者が出て居ります。しかし、今回は都合により詳しい進学情報や教職員の見聞報告は次回に回したいと思います。

熊本地区

同窓会だより

立木満雄 (高四回卒)

関東地区同窓会の皆さん、お褒め下さいませんか。永崎秀一郎さんの御配慮により桜会だよりを第12号より送って頂き、多数の会員に読んでもらっています。そちらの方々の活動されて居られる御様子を詳しく伺い知る事が出来まして嬉しく思っています。

さて、こちら熊本地区の状況ですが、県内に同窓の者が約、〇〇名程度に在住している様ですが、地区の同窓会の会員としては主に市内及び、その近傍に居住している者を対象に連絡を取り合い、そして年一回(六月、七月)会合を持ち親睦を図っています。会員数約、〇〇名で、同窓会に出席する者は毎年平均して約三分の一の四〇名程度です。この会合も最近では旧制中学校及び、女学校の人が約、五名位で非常に少なくなりました。出席する人は主に高卒の四〇、五〇年代のメンバーが多い様ですが、やはり出席者が全体的に少ないのが、幹事の悩むところですね。そして年一回の総会で、出席した者同志が久しぶりに会うと共に交誼し語り合う事で、小林高校の卒業生である事を自覚しています。そしてなお、熊本地区で時折行われる九州地区の駅伝大会やバスケット、陸上競技等の選手会の応援に有志数名で応援に出向いているところですね。その他に活動としては何も実行していません。

望郷三題

富満 彬 (高四回卒)

このところ故郷について語り合う機会に恵まれた。その一。消費税の事務処理の説明について各支社を訪れる機会があり、大阪に行った時のことであつた。始めて行く支社の所在地を地図上で調べているうち、その近くに第二次大戦末期、小林に東京から疎開していた一年先輩の勤務先があることを思い出した。国民学校から小林中学、途中で東京の都立一中(日比谷高校)へ転校し、東大を経てある中央官庁へ入った人で、今はある公団に下り大阪在住の人である。少し早目に大阪に行き訪問したところ、先方は会議中、アポイントもとらず、こちらの風裁も風裁、ということもあつて、秘書室長からくどくどと関係を開かれたが、会議を抜け出して出て来られた先輩に遠い昔の面影はなかつた。しかし幼い頃のことなどを話し合っているうち、人とも当時は別で、十五夜の少年相撲をサボリ、川辺を棒で叩きながら、家路を辿った頃の話になり話がはずみ出した。『実はこの前、叔母の葬儀で小林に行つて来たんですよ。ずいぶん変つていて、何かしらあちこちの距離が近い感じがしたなあ。しかし、高千穂の峰はあの時のま、だったなあ。』回想の言葉を、ながら、暫し望郷の想いにひたつた。

平成元年度会計報告

自 平成元年4月1日
至 平成2年3月31日

収入の部		支出の部	
年会費	330,000円	総会開催費	625,122円
寄附金	195,000円	幹事会費	114,436円
総会費	575,000円	会費発行費	458,792円
広告費	160,000円	通信費	25,640円
利息	34,697円	寄附金手続料	50,000円
前期繰越	734,973円	振込手数料	3,090円
		交通費	25,000円
		ソフトボール大会費用	41,010円
		次期繰越金	686,580円
合計	2,029,670円	合計	2,029,670円

計：有坂久美子 (注)準備金として定期預金 500,000円
会計監査：有馬 恵幸 定額郵便貯金 500,000円

編集後記

若葉の色が目にしみる季節となりました。第十五周年記念総会にふさわしい会報に努力したのですが如何でしょうか。いつもの事ながら仕事の合間のボランティア活動なので、あれもこれもやりたいと思うばかりでなかなか実行に移せません。とにかく第十五回桜会祭りに多数の方の御参加が得られ、盛大であることを心より期待するものです。最後に、原稿をお寄せ頂いた方、広告掲載に御協力頂いた方々に心より御礼申し上げます。編集担当 永崎秀一郎(高四回) 石渡 浩子(旧女、上、回)

ようしましに参加する6月会桜

弁護士
立野 輝二
(旧中十七回)

事務所
〒101 東京都千代田区神田駿河台
三丁目一番地日光ビル4階
立野横山法律事務所
電話(〇三三)二九一九四六五

宮崎県の若人たちによる
株式会社 エム・エレクトク
代表取締役
山下 光正
(高五回)

本社
〒104 東京都中央区八重洲
電話(〇三三)二七二四四〇〇
宮崎工場
宮崎県東諸県郡高岡町二七一一
電話(〇九八五)八二二三九三二

株式会社日高設計企画
代表取締役
日高 省三
(高二回)

一級建築士宅地建物取引主任者
〒166 東京都杉並区高円寺北
電話(〇三三)三三〇一一六六
FAX(〇三三)三三九一九二八五

堂原 幸子
河野 ムツ子
(高六回)

スタンドバー
はまゆう

〒160 新宿区歌舞伎町一〇一七
星条ビル地下(階下)階下
電話(〇三三)二〇九一五三〇

代表取締役 西田 忠司
(高五回)

〒114 東京都大田区東横谷五十二七
電話(〇三三)七四五二六四一

アルミ板金製作施工
大洋金属工業株式会社

〒114 東京都大田区東横谷五十二七
電話(〇三三)七四五二六四一